W校中高等部だより

球技大会特集

令和六年（二〇二四）五月二十五日
ニューヨーク補習授業校W校

W校中高等部の球技大会が五月二五日に盛大に行われました。今年は天気にも恵まれ、初競技であるキックベースも、サッカーとともに外のグラウンドで行われました。各種球技に参加した中高等部の生徒たちは、さわやかな汗を流し、楽しく親睦と交流を深めることができました。

生徒たちは、クラスごとに色を決めたTシャツに、各クラスで考えた独特のデコレーションを施し、大会気分を盛り上げていました。

球技大会は、中等部二年の東間巧君、中川徹平君の元気の良い選手宣誓を合図に、男女混合縦割り八チームに別れ、バスケットボール・バレーボール・キックベース、サッカーの四競技を行いました。また、最後には紅白に分かれての全員参加の大ドッジボール大会も行い、生徒たちは、自分の得意な種目だけでなく、学年混合のチームの全員が一つになって、活動を楽しむことができました。

二週間前からチームごとに昼食をとったり、チームワークを高める活動（チーム名確認ゲーム、名前覚えゲーム、チーム練習など）をしたりしてきたことで、グループ内でお互いのの顔や名前を覚え、高等部のリーダーを中心にまとまったチームができました。生徒たちが汗をかきながら得たものは、学年やクラスを超えた団結・協力・相互理解、そして、諦めない心。生徒たちにとって、この球技大会は補習校ならではの思い出作りの場となりました。

競技に参加した生徒一人ひとりの活躍する姿、下級生を思いやり、チームを上手く牽引する高等部のリーダーの頼もしい姿、そして何より、全員の輝く笑顔、普段の授業日には見られない新しい姿をたくさん見ることができました。

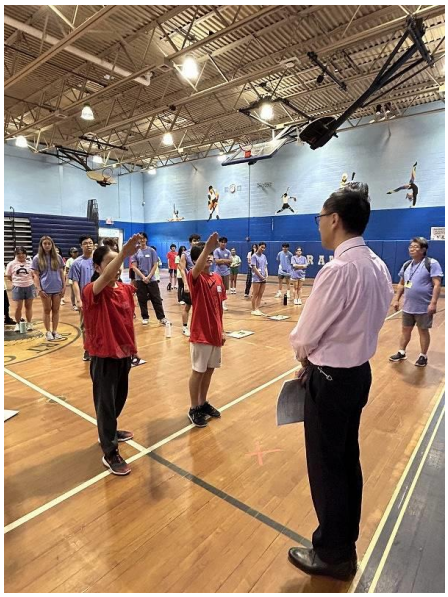
試合後には、保護者会から冷たいものが差し入れされ、ボランティアの方々含め、参加者全員が笑顔で感想を語り合い、無事終了しました。

総合成績

一位：Hチーム

二位：Fチーム

三位：Gチーム



競技ボランティアの皆さん

卒業生　岩崎莉奈さん、河野真理咲さん、河野恵理果さん、渡邉慧さん、コウエンダリアスさん、久木田葵さん、入江天悠さん、入江仁悠さん、井澤幸平さん、戸塚ジョナサンさん 、押川正太郎さん、寺門澪さん

保護者　十名の保護者の方

競技ボランティアを卒業生にお願いしました。卒業生たちは、この球技大会の準備のために前週の顔合わせでも来校し、球技大会当日は、ジムのバレーコート、バスケットコート、ドッジボールコートのラインテープ貼り、ネット設営などの準備に献身的に取り組みました。また、大会運営のため、準備から進行、後片付けまで、この大会を支えていただいた保護者会ボランティアの皆様にも感謝申し上げます。



先輩・後輩という言葉

中等部一年一組　瀬来　真弥

五月二十五日の球技大会は私達中等部一年生にとっては初めて、上の学年の先輩達といっしょにスポーツをするという貴重な体験だった。スポーツをいっしょにすることよりも、私がおもしろいと思ったのは、先輩、後輩という言葉だ。

日本の子供達は中学生になると、先輩や後輩という言葉を使い始めるそうだ。それだけではなく、年が違うだけで、話し方やコミュニケーションの仕方が変わるそうだ。私はアメリカで生まれ育ったため、先輩後輩という新しい人間関係を学ぶことはとても不思議だと思う。

現地校では先輩・後輩という関係はない。補習校でも初等部では、学年の違いはあっても、誰でも同じ学校の仲間としての関係である。しかし、補習校でも、日本のように中等部に進学すると、日本特有の先輩・後輩の関係が生まれる。球技大会はそれを体験できる機会だった。

球技大会は、各チームは必ず上級生と下級生が混ざっている。私は初め、先輩達とどう話せばいいのかわからなかった。例えば、試合前のミーティングでは、先輩達と作戦を考える中で自分の意見を言うのはとてもはずかしかった。しかし、先輩達はとても優しく、私達中等部新一年生の意見を聞いてくれた。だから私もチームの一員なんだと感じた。

試合が始まると、先輩達は上級生らしく下級生をリードしてくれた。特に印象に残っているのは、先輩が、失敗した後輩を励ましてくれた時のことだ。先輩達は、「次はがんばろう」などとはげましてくれた。私達は、その言葉がとても嬉しかった。残念ながら私達のチームは最下位だったが、この球技大会では、年や学年を超えたチームワークを学べた気がするし、先輩・後輩の関係は良いものだなと感じることができた。私にもいつか後輩ができたら、優しくしてあげたいと思った。



球技大会で学んだこと

中等部一年一組　滝　優羽香

「いよいよ私の番だ。」

そうドキドキした気持ちのまま、私がサーブをする番になりました。

五月二十五日に、ニューヨーク補習授業校の球技大会がありました。全八チーム、四チームごとに赤組、白組に分かれてサッカー、バレーボール、バスケットボール、キックベースの四つの種目を競い合いました。私は、白組のFチームでした。印象に残ったことは二つあります。

一つ目は、バレーボールです。バレーボールは私の競った球技の中で一番得意なスポーツでした。けれどもみんなの前でサーブをしようとするとドキドキしました。しかし、サーブが成功するとチームのみんなが喜んでくれて、もっと頑張ろうと思いました。

二つ目はバスケです。この種目は、バレーボールほど自信がなかったので、始める前は緊張しました。試合が始まると、とてもいい勝負ではありましたが、主に高校生が活躍していたため、私は何もできませんでした。けれども、うまい・下手を気にせずに上級生がボールをパスしてくれたので、バスケも楽しめました。

結果、全部の種目に勝つことができ、嬉しかったです。総合点も、十五対一で白組が勝ちました。

今年の球技大会で学んだことは、団結力です。私たちは最年少だったため、年上のみんなと話せるか、少し不安だったけれど、話してみたら上級生たちはとても優しくて、安心しました。バスケの時のように、他の球技でも、うまくても、下手でも、気にしないでボールをパスしてくれました。私もこのような先輩になりたいと思います。

来年も、団結してみんなで楽しみながらも勝てるように、一生懸命に取り組んでいきたいです。



色々学んだ球技大会

中等部一年一組　粟飯原ーワイス　江里

「バシッ」とバレーボールが当たる音。今日は年に一度の球技大会の日です。みんなワクワクして楽しみにしています。

今年は私の初めての球技大会でした。高一の姉が前にも何回も球技大会に行ったのでどんなものかは知っていたので、そこまで不安ではありませんでした。

しかし、球技大会の日が近づいてきたら少し心配になりました。「チームに友達いるかな。」「ゲームのルールわかるかな。」と思えてきました。ところがチームの顔合わせに行くと、みんな優しくて安心しました。友達とは一緒ではなかったけれど、色々な人に会えて良かったです。

球技大会の本番では、ルールがあまり分かってなくて、緊張して間違えたりしました。

キックベースでは、ピッチャーなのに違う方向にボールを転がしたり、バレーボールではボールがアウトになりそうなのに触ってしまったりもして、チームのみんなに本当に申し訳ないな、と思いました。それなのにチームメイトも卒業生達も「ドンマイ」や「頑張れ」と声をかけたりしてくれて嬉しかったです。

今年はあまり慣れていなくて試合を一つも勝てなかったけれど、来年はもっとルールを理解して試合の一つくらいは勝ちたいです。ただ立っているだけではなく、チームの力になって頑張りたいと思います。私が高一や高二の先輩になったら、中一とみんなを応援してあげたいです。

スポーツがあまり上手くなくても、これからの球技大会や色々なイベントを楽しみにしています。



W校初の学校行事

中等部二年一組　中川　徹平

僕は五月二十五日に行われた球技大会で、素晴らしい思い出を作ることができました。

まず始めに、クラスのTシャツを作ったことです。最初に学級委員の東間君が多数決で服の色を決めました。赤は、情熱のイメージなので、赤になってよかったです。服に描くアイデアがある人が教室の前に描いていました。みんなで話し合って、最終的にANPANとアンパンマンになりました。

次に球技大会で選手宣誓をしたことと、自分のチームが三位という結果を残せたことです。選手宣誓は立候補者は自分を含め、三名でその内の二名が選ばれるので、じゃんけんで決めました。じゃんけんはドキドキしたけど、勝てて嬉しかったです。

特に印象に残った競技はバスケットボールとキックベースです。なぜならバスケはあまりやったことがないけど、三回もシュートできて、活躍できたからです。キックベースは中野君がキャッチも上手いし、判断力もすごかったからです。頑張った結果、チームが三位になることができ、うれしかったです。

球技大会で学んだ団結力を次の行事に活かしたいです。





球技大会

中等部二年一組　中谷　陽喜

新学年になって最初の行事の球技大会が開催されました。

普段は勉強をするために行く補習校ですが、球技大会は運動をして競い合う競技です。だから普段はあまり見られない色々なスポーツをする補習校の生徒たちが見られました。

そして球技大会はチーム戦でチーム構成はそれぞれの学年たちが集まり一チーム八人ぐらいでできていて、あまり他の学年との交流は普段ないので新鮮でした。

僕は正直最初はとても緊張しましたが、高等部の人たちが優しく声をかけてくれてとても安心しました。

球技大会は、チームのみんなはもちろん頑張っていましたが、その中でも高等部の人々はとても頑張っており、度々すごいプレーを見せてくれました。球技大会に出て改めて高等部の皆さんを尊敬しました。







チームワークの大切さ

中等部三年一組　佐久間　彩華

今年は私の三年目の球技大会でした。その日はちょうどよく晴天で外で行われるサッカーやキックベースに完璧な天気でした。校長先生の話を聞いて体操をした後、私のチームは早速外へ出て最初の試合、キックベースを始めました。

外に出た瞬間、太陽の燃えるような光を感じてワクワクしてきました。私はチームのために一ポイント獲得することができたので満足しました。次にバレーボールを始めました。私はこのスポーツで一番チームワークを感じました。なぜならボールが地面を打たないように声を掛け合ったり、サーブをするときに足が線を超えないようにチームメイトに注意しあっていたからです。チームの皆の勢いにつられて、試合が盛り上がったように感じました。チームワークを通して下級生や上級生ともっと接することが出来たので心から嬉しかったです。

バレーボールの後には、また外へ出てサッカーをしました。私はサッカーが苦手なのであまりプレーすることはできませんでしたが、見るのはとても面白かったです。その後、私のチームはバスケをしました。サッカーと同じように、私はバスケも苦手でボールに当たるのが怖かったのであまり近寄ることができませんでした。でも、とても熱い試合になったので見るのが楽しかったです。

最後に、全員ドッジボールをしました。私はこのスポーツをすることをすっかり忘れていました。最初はかなり緊張していましたが、実際始まってみるととても楽しくて時間の流れが速く感じました。

最終的に私のチームは勝つことができませんでしたが、球技大会は心躍る楽しい思い出になりました。去年と違って気持ちの良い晴天に恵まれたので、サッカーとキックベースをすることが出来て本当に嬉しかったです。チームワークの成果を見ることができて大変良い経験でした。私は中学年と高校生のちょうど中間に位置する中三なので、下級生を助けたり、上級生からアドバイスをもらったりするなど、楽しんで多くのことを学ぶ機会となりました。

来年は、高校生として球技大会に出るのを今から楽しみにしています。

球技大会

高等部一年一組　星　成実

私は、補習校で初めての球技大会を経験しました。私はクラスTシャツのデザインを担当しました。桃色のクラスTシャツに可愛い桃太郎をデザインできて嬉しかったです。来たばかりの私にこんなに大きな仕事ができて、高校一年生のクラスの温かさを感じました。当日はみんなが桃太郎のTシャツを着ているのを見て、大きい達成感を得ました。

そして、球技大会当日では縦でチーム分けを行っているので、初めて後輩や先輩と関わりました。昼休みにチームの人達とランチを食べたときには、会話がほぼありませんでした。それもあってはじめは不安が大きかったのですが、終わった今振り返ると、とてもいいチームだったと思います。

私が大会で特に印象に残っていることは、バレーボールの試合です。私は中学校でバレーボール部に所属していました。そのため、普通の人よりうまくできる自信があったのですが、実際にはバレーボールはチームスポーツなので、互いの声掛けが十分できずにみんなでボールを落としてしまうことが多々ありました。しかし、私のサーブミスはなかったし、自分から取りに行けるところは取りに行こうと努力をできたので、少しでもチームに貢献できたと思います。結果は負けだったけれど、楽しくプレーができ、団結力がより強固になったのを感じました。

反省点は、特にサッカーなどの自分の苦手分野で、緊張もあってそのまま立っていることが多かったことです。そして結局、私達のチームは全敗で、白組も負けてしまいました。しかし、他学年と交流ができた貴重な機会で、楽しい球技大会でした。来年も続けられたら、今年の反省点を活かして最高学年として頑張りたいです。





四回目の球技大会

高等部一年一組　粟飯原ーワイス　寿利

今週の土曜日は高等部に入って最初のイベント、球技大会が行われました。補習校の行事の日は天気の良い日が多いといつも思っていました。今回も晴れている上に夏みたいに暑い日でした。

今までのグループは知らない人ばかりの印象でしたが、今年はラッキーでした。妹の友達や、去年のグループで一緒だった子など、知っている人が何人かいて嬉しかったです。でも知り合いがいると安心できる一方で、今まで喋ったことのない人と交流するのも楽しかったです。

高校生としては初めてでしたが、中等部を入れると今年は人生で四回目の球技大会でした。経験が増えたからか、球技大会の環境と球技自体にもだいぶ慣れた気がしました。バスケでは前半に出たのですが、今までみたいに緊張はあまりしないで、とりあえずボールを追って楽しむことができました。でも後半で見学している時になると、「やっぱり皆すごいな」と思いました。コートの端から端を、他の人を上手くよけながらすごいスピードで走る人、パスされたボールをジャンプで受け取る人、シュートを綺麗に決める人など、一人一人の活躍にとても感心しました。それと同時に、平等にボールを回したり、はげまし合ったりしているメンバーのチームワークを見ることもできました。

球技大会に慣れたと先程は書きましたが、キックベースは今回が初めてでした。現地校で少しやったことがあったので大体のルールは分かっていましたが、いざフィールドに出ると戸惑いました。特にキッカーの時はボールがどこにあるか気をつけながら急いで走らなければならなくて、結構難しかったです。

私のチームは最後の二競技が外で行うキックベースとサッカーだったので、汗だくになってしまいました。しかし、結果発表の時、自分のチームが三位だったことを聞いてとても嬉しかったです。初めてランクインできたのも、全員の協力と、ちゃんとチームをまとめてくれ、作戦などを考えてくれた高二の先輩達のおかげだと思いました。来年は自分がその立場になる可能性があることが信じられませんし、想像できません。

片付けなど終わった後にいただいたアイスは冷たくてとても美味しかったです。今年の球技大会もあっという間に終了し、疲れたけれど良い思い出になりました。来年も頑張りたいです！

球技大会に参加して

高等部二年一組　佐久間　広幸

今年が私の最後の球技大会でした。最高学年として、私はＡチームのリーダーと選ばれたので緊張はしていましたが、自分のチームが優勝できるのかドキドキして非常に楽しみでもありました。

先週、チームに合流したとき、チームメンバーたちはみんなスポーツがとても上手で、私は彼らと一緒に練習するのが楽しかったです。みんなが得意なスポーツが少なくとも一つはあったので球技大会の日は楽しく遊べて優勝する気もしました。チームリーダーとして、私は自分のチームをすごく誇りに思っていました。なぜなら、彼らはみんな本当にフレンドリーで、私はチームメンバーの何人かをよく知ることもできました。

実際の試合はとても楽しくて相手チームもすごく強かったです。結果としては全敗でしたが惜しい試合もたくさんあり、チームリーダーとしてチームを励ますのがとても楽しかったです。相手チームとの試合はすべて切磋琢磨の場だったので、負けてしまいましたがとても楽しかったです。例えば、私たちのチームは相手チームが得点を決めたら相手チームを応援したし、その逆もありました。チームリーダーとして、その日はとても疲れましたが、同時にとても楽しかったです。各イベントで、私は全力を尽くし、たとえ疲れていてもベストを尽くすようチームを励まさなければなりませんでした。私たちのチーム、そして赤組全体としては負けてしまったけれど、とても楽しかったです。チームリーダーとして、私はチーム全員が楽しめるようにする責任があると感じていましたし、その目標は成功したと思っています。この日はチームとの絆を深めるチャンスでしたし、負けたけれど、チームと一緒に頑張って遊べることができてとても楽しかったです。





球技大会に参加して

高等部二年一組　天満　スカイラー

今年の球技大会はとても楽しかったです。サッカー、キックベース、バレー、バスケなどの色々なスポーツができ、とても満喫した気持ちでした。そして、チームの皆で一生懸命頑張って全部の試合に勝つ事が出来ました。

一人一人の頑張りにとても感動しました。皆、自分が得意なスポーツがあってそれに全力で取り組むところを見て、チームのプライドを感じる事ができました。その上、得意なスポーツだけではなく全部の球技に必死に勝とうとする頑張りを見せて、先輩、後輩関係なく、協力して頑張っている皆の姿を見て心が温かくなりました。例えば、バレーの時サーブに苦労をしていた一人の生徒にチームの皆が頑張れと声がけをして、生徒の不安な表情がほっこりした顔になりました。この光景を見てどれだけ球技大会は中高の生徒を結びつける特別なイベントだという事に気づく事ができました。

今年の球技大会で一番楽しかったのはバレーでした。私はこの球技で一番活躍することができ、チームの皆と必死にボールが地面に落ちないように頑張りました。皆で声がけをするところがチームの存在を深めて、一人一人がお互いに信頼して一生懸命取り込む所が最高でした。その他に、一つ一つの点が終わった時、両方のチームがやわらかい拍手をする所も皆のスポーツマンシップを感じる事ができました。そして、バレーは一つの点をとるために何人もが協力してボールに集中しないといけません。なので、私たちはチームを前と後ろに分けて、一人一人が自分の役目を達成しながら、協力をして点を次から次へと獲得しました。この計画は私たちを勝利に導いて行ってくれました。

今年の球技大会ではチームでのお互いの協力が見られて、中高の関係を深める事ができたと思います。これで最後の球技大会でしたが、後悔なしでとても満喫して楽しむ事ができました。これからの球技大会でも、楽しく全力を尽くす努力が見られることを願います。






RAMS







